

令和8年3月定例会一般質問通告者及び質問要旨

(一般質問・議案質疑を含む)

◎3月13日(金)

質問順	質問者	質問要旨	答弁者
1	天野 有紀 (尚志会) ↓	<p>1 世界農業遺産のまちにおける担い手戦略について 耕作放棄地は増加し、高齢化が進んでいることから、「未来の担い手」に投資すべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地、さらに優良農地について、市が一定基準で査定・整理し、新規就農者へ期間限定で貸し出すなど実効性ある農地承継の仕組みを構築する考えはあるのか伺いたい。 多様な担い手の支援及び果樹栽培技術を次世代へ継承するため、体系的に学べる市独自の担い手育成体制を強化する考えはあるのか伺いたい。 シャインマスカット等によるふるさと納税財源を、新規就農者定着のために、戦略的に位置づける明確な方針があるのか伺いたい。 <p>2 有害鳥獣処理施設の整備および運営について 鳥獣被害防止総合対策事業補助金は軟化処理施設本体に活用し、ジビエ一次処理施設や焼却炉については国との協議の中で補助対象とはできないとの回答があったと伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設に係る市の実質的な財政負担はどの程度か。また、将来的な維持管理費も含めたランニングコストを伺いたい。 市が直接販売に関与しない方針とのことだが、その判断に至った具体的な検証内容を伺いたい。 将来的に黒字化した場合の市への還元スキームについて、その割合や算定基準はどのように設定されるのか伺いたい。 <p>3 山梨市デマンド型交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用ガイドのリニューアルやより見やすい紙媒体資料を作成する予定はあるのか伺いたい。 2時間前までに予約の必要性がある現状をどのように把握されているのか。また、予約時間の柔軟化や制度の変更を検討しているのか伺いたい。 現段階での通学利用者や利用予定者の人数はどの程度把握しているか。また、交通費の補助は何割か伺いたい。 <p>4 本市の英語教育とスーパーバイザーについて 市内英語教育の統括役として、「スーパーバイザー」を導入すると伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーバイザーとはどのような経歴・専門性を持つ方を想定しているのか伺いたい。 	市長 農林課長 市民課長 教育長

1	天野 有紀 (尚志会)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのような役割を担い、NLT・英語専科教員・各学校をどのように支援・指導していくのか伺いたい。 ・これまでの体制と比べ、子どもたちにどのような効果を期待しているのか伺いたい。 ・本市の目指す英語教育像を、どのように現場へ浸透させていくのか伺いたい。 	
2	糠信 平 (日本共産党)	<p>1 会計年度任用職員の雇用状況について 公務員は長期的な行政運営が必要なため、安定した雇用形態をあたりまえにすべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月1日現在で、5年以上の雇用期間となっている会計年度任用職員の職員数と割合を伺いたい。 ・本市における会計年度任用職員の割合が全国平均より高い現状について、市の考えを伺いたい。 ・会計年度任用職員の経験を活かす採用試験の導入について、市の考えを伺いたい。 <p>2 診療報酬・介護報酬改定の見解と市独自施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の診療報酬・介護報酬改定について、市の評価を伺いたい。 ・医療および介護事業への市独自支援策について考えを伺いたい。 ・3月に休止となる介護事業所がある事について、市のとらえ方を伺いたい。 <p>3 国からの給食費補助金の有効利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国からの小学校分の給食費無償化の予算額について伺いたい。 ・小中学校修学旅行費補助を行う場合、必要となる予算額はどれくらいか伺いたい。 ・小中学校修学旅行費補助を行うことについて、市の考えを伺いたい。 ・学校給食費無償化は、本市においても公立・私立にかかわらず対象とすべきだが、本市の考えを伺いたい。 <p>4 投票率と主権者教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率の低下傾向について、市の考えを伺いたい。 ・小中学生に対する主権者教育に係る市のこれまでの取り組み状況と今後の取り組み内容について考えを伺いたい。 	<p>市長</p> <p>高齢者・介護支援課</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p>
3	根津 和博 (新翔会) ↓	<p>1 関東富士見百景を活用した観光振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内における富士見スポットについて、市として体系的な把握や整理を行っているのか伺いたい。また、関東富士見百景という国のお墨付きを、観光資源としてどのように位置づけているのか伺いたい。 ・富士見百景や市内の眺望ポイントを活用し、レジャーとの組み合わせや、SNSなどを活用した周遊型観光 	市長

3	根津 和博 (新翔会)	<p>へと発展させていく考えはあるのか伺いたい。また、本市ならではの「富士山の見え方」を軸とした観光振興について、市の認識と今後の方向性を伺いたい。</p> <p>2 中央本線沿線の山々を活かした登山観光の推進について</p> <p>市内を通る中央本線沿線の山々は、首都圏からアクセスしやすく、高い人気を集めているエリアである一方で、登山客の多くは通過型にとどまっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の登山環境の現状について、どのように認識しているのか伺いたい。 ・中央本線沿線という立地特性を、登山観光の強みとしてどのように位置づけているのか伺いたい。 ・登山を核とした滞在型・周遊型観光を推進していく考えはあるのか。また、登山観光を交流人口の拡大と地域経済の循環につなげていくための、今後の方針について伺いたい。 <p>3 市営温泉の活用と持続可能な運営について</p> <p>市営温泉は、市民の健康増進や交流の場として重要な役割を果たしてきた。一方、近年赤字経営が続いていると聞いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営温泉が果たしている市民サービスとしての役割とその意義を、どのように評価しているのか伺いたい。 ・赤字が続く要因について、どのような分析を行っているのか伺いたい。 ・今後、登山やハイキング等と連動した温泉活用、観光や季節イベント等とのセット化、サービス改善や情報発信、民間ノウハウの活用や運営手法の見直しなどにより、市民温泉を「使われ続ける施設」「訪れたい施設」へと転換していく考えはあるのか伺いたい。 <p>4 本市の将来に向けたリゾート施設構想について</p> <p>フルーツパーク等の既存資源を核に、施設を整備することは、収益と人の流れを生み続ける「市の資産」になり得ると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルーツパークなど既存の観光拠点を活用した、大型プールや通年型の水辺・ウェルネス施設を整備することについて、将来の観光資産・収益資産として検討することについて、市長の所見を伺いたい。 ・その際、まちづくり公社での運営や民間活力を導入したPPP（官民連携）方式による雇用と税収を生み出す仕組みづくりについて、どのように認識しているのか伺いたい。また、こうした将来型プロジェクトを検討するにあたり、民間事業者や金融機関、地元事業者と意見交換会を行う場を設ける考えはあるのか伺いたい。 	<p>観光課長</p> <p>観光課長</p> <p>観光課長</p>
---	----------------	--	-------------------------------------

4	島村 雅美 (赤松の会)	<p>1 市営住宅への学生の受け入れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の国土交通省への目的外使用承認の申請の進捗状況を伺いたい。 ・今後入居申し込みが増えた場合、受け入れる部屋数を増やすことが可能か伺いたい。 <p>2 山梨市ジビエ軟化処理等施設建設事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シカ・イノシシは本市では年間どのくらい捕獲されているのか。また、捕獲後ジビエ利用ができるのはどのくらいか伺いたい。 ・地元の住民にとっては施設の臭気が気になると思うが、影響があるのか伺いたい。 ・「山梨市ジビエ軟化処理等施設」を建設することによる期待される効果を伺いたい。 <p>3 市消防団ドローン隊結成について</p> <p>消防団の活動の効率化と安全確保のためにも、ドローン隊を速やかに立ち上げ、有効活用することが重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ドローン隊」を立ち上げるにあたり、現在の準備状況はどうなっているのか。また、どのような体制を考えているのか伺いたい。 ・市はこのドローン隊をどのように活用し、役立てたいと考えているのか伺いたい。 <p>4 笛川中学校校舎の増築・改修の基本設計業務について</p> <p>笛川中学校校舎の増築・改修の基本設計業務が「公募型プロポーザル」方式で実施されると伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロポーザルへの参加業者がどのくらいあったか伺いたい。 ・国が示す「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」について、どのようなものか伺いたい。 	<p>市長</p> <p>農林課長</p> <p>防災危機管理課長</p> <p>学校教育課長</p>
5	<p>星野 洋 (サンリ・みらい)</p> <p>↓</p>	<p>1 令和8年度当初予算について</p> <p>本市の事業計画を見ると、新たなインフラ整備が目白押しであり、このために必要となる財政需要は多額になるのではないかと危惧している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む中、大型事業を進めるうえで、市はどのように財源の措置を講じる考えなのか伺いたい。併せて、今後見込まれる自主財源の動向についても伺いたい。 <p>2 市所有の未利用地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が所有している万力公園西側の市有地及び旧中込跡地となる市有地の今後の活用方針について伺いたい。 <p>3 山梨厚生病院周辺の道路事業の進捗について</p> <p>山梨厚生病院周辺の道幅は狭く、救急搬送車の通行に支障をきたしていることから、アクセス性向上のためにも道路の拡幅整備が必要と考える。</p>	<p>市長</p> <p>管財課長</p> <p>建設課長</p>

5	星野 洋 (サンリ・みらい)	<ul style="list-style-type: none"> 山梨厚生病院周辺の道路整備の現在の進捗状況について伺いたい。 <p>4 都市計画と農業振興の調和のとれたまちづくりについて</p> <p>本市では一部に用途指定の区域が定められているが、基本的に都市計画区域と農業振興地域の区域が重なっている。このままでは、未利用地は増加し、農地は生産性が失われると危惧している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、農業の発展につながる取組であれば、農地転用の規制を緩和し、生産者が自己所有農地を効果的に使える仕組みづくりが重要であると考えるか如何か。 	農 林 課 長
6	矢崎 和也 (新翔会)	<p>1 山梨市地域ブランディング戦略について</p> <p>「山梨市ブランディング戦略」の推進方針が示され、現在策定作業が進められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> どの様な推進体制で進めていくのか、優先的に着手する主要施策を伺いたい。 本戦略が掲げるプロモーションを、どの様に戦略的に推進していくのか伺いたい。 「山梨市地域ブランディング戦略」を策定するにあたり、市外や都市部から本市をみた視点なども反映させるべきと考えるが、見解を伺いたい。 <p>2 来年度税制改正による影響への対策と、自主財源の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人住民税の税制改正による本市の業務全般への影響と、それらへの対策について伺いたい。 来年度予算案のうち市税収入が前年度比1億8千万円余の増額見込みであるが、その要因と根拠について伺いたい。 市税の収納率の現状と来年度収納見込みを伺いたい。また、収納率向上対策やその強化策として考えている事はあるのか伺いたい。 	市 長 税 務 課 長
7	岩崎 友江 (尚志会) ↓	<p>1 まちづくり公社設立について</p> <p>茨城県境町にある視察先の「株さかいまちづくり公社」は、まちの活性化に貢献し、新しいビジネスモデルを確立している好事例であると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> さかいまちづくり公社は、商品の開発、顧客開発、体制整備、人材育成の支援に成功している。これらの要因について、本市はどのように分析しているのか伺いたい。 来年度予算において、まちづくり公社の設立に向けた事業経費が計上されているが、どの様な目的で検討していくのか、市の考えを伺いたい。 <p>2 森林セラピー基地の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林セラピーの導入及び終了面接のための部屋の設置 	市 長 観 光 課 長

7	岩崎 友江 (尚志会)	<p>が必要であると思うが如何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> セラピーロードの案内板やピクトグラムなどを含むベンチの整備及び森林安息場所の安全確保について、定期的に実施されているのか伺いたい。 現在に至るまで山梨市森林セラピー推進協議会が主体となってガイド育成の一端を担っているが、人材の育成費用がかかるため、その費用の助成について本市の考えを伺いたい。 <p>3 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について</p> <p>生活者支援事業の一つとして、本市では市民1人10,000円を支給する事業がメニュー化され、地域の実情に応じた対策を講じるとのことであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活者支援事業3事業及び事業者支援事業5事業について、それぞれの事業内容及び対象となる支援内容や支援対象について伺いたい。 給付の方法を現金給付にした理由と目的、期待される効果等含めて伺いたい。 	政策秘書課長
8	榎野 雅敏 (赤松の会)	<p>1 ふるさと納税の戦略方針とその使い道について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度ふるさと納税ブランディング課が設置されたが、本市の強みを最大限に生かすための戦略、現時点での方針と今後の取り組みを伺いたい。 ふるさと納税で確保した財源の活用について、どの様に考えているのか伺いたい。 <p>2 笛吹川県下納涼花火大会について</p> <p>石和温泉花火大会では、2024年にドローンショーが実施され、大きな話題となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローンショー導入に関する市の見解を伺いたい。 <p>3 リニア新駅から本市への接続について</p> <p>県では、リニア新駅から県内の要所をつなぐ新たな交通手段として、次世代型路面電車「富士トラム構想」が進められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の構想では、リニア新駅と各市町村の拠点を結ぶ2次交通としても整備するとのことであるが、本市のどこに接続する構想なのか伺いたい。 ルートの検討などについて、本市も何らかの形でかわるのか伺いたい。 	市長 観光課長 市民課長
9	清水 和美 (赤松の会) ↓	<p>1 若い世代に選ばれるまちを目指した本市の子育て施策について</p> <p>本市では、昨年10月に「山梨市こども計画」が策定され、こども・若者施策や母子等に関連する計画を一体的なものとする事が改めて示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山梨市こども計画及びこども屋内運動遊び場の整備に見られる市民の声を起点とした取組を踏まえ、子育て 	市長

<p>9</p>	<p>清水 和美 (赤松の会)</p>	<p>施策を移住・定住施策の一部として捉えたとき、本市はどのようなまちを目指しているのか伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に寄り添い、相談やつながりを大切にする本市の取組を、今後どのように磨き発信していくのか伺いたい。 <p>2 周辺の生活環境や安全に支障を及ぼすおそれのある居住実態への対応について</p> <p>このような居住実態について、さまざまな課題が複雑に絡み合い、現行制度では対応が難しいケースもあると感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市における居住実態への対応について、調査研究の状況について伺いたい。 ・現行制度について、現状の居住実態に対し、十分かつ継続的な対応が可能であると認識しているのか伺いたい。 ・条例制定の是非を含め、要綱整備や市内連携体制の強化などについて、今後どのような制度的対応が必要と考えているのか伺いたい。 <p>3 花かげの郷まきおかの使用料のあり方について</p> <p>花かげの郷まきおかの加工室と農産物直売所を行政財産として貸し出しているが、合併から21年が経過した現在も使用料の見直しがされていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市が固定賃料に加え、売上歩合方式を採用した背景について伺いたい。 ・使用料制度について、指定管理者制度の対象とすることを含め、経済環境に応じた対応が可能かを検証し、必要に応じた見直しを行う考えがあるのか伺いたい。 <p>4 本市における今年度の基金の資金運用について</p> <p>日本銀行が、長く続いたゼロ金利政策を転換し、金利のある環境へと舵を切ったことにより、基金の運用を取り巻く状況もこれまでと違う局面に入った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市における現在の基金の件数、残高及び内容について伺いたい。 ・金利環境の変化に伴い、どのような点に留意し、安全かつ効率的な資金運用に取り組んできたのか伺いたい。 ・「山梨市中村美恵子育英基金」の創設に際し、当該基金の積立手続きと、大学生支援としての今後の運用方針について伺いたい。 	<p>環 境 課 長</p> <p>観 光 課 長</p> <p>会 計 課 長</p>
<p>10</p>	<p>木内 健司 (公明党)</p> <p>↓</p>	<p>1 関係人口の創出について</p> <p>岡山県の西栗倉村は、日本初の関係人口特化アプリをスタートさせ、2021年には登録者が人口を超えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出を含めた移住・定住施策にも合致する 	<p>市 長</p>

10	木内 健司 (公明党)	<p>ため、本市でも活かすべきと考えるが、「ふるさと住民登録制度」の取り組みについて見解を伺いたい。</p> <p>2 奨学金返還支援補助金について 本補助金について、就労先の要件を県内もしくは記載なしとする県内自治体が複数ある。 ・本補助金の利用者数等、活用状況を伺いたい。 ・就労先の要件について、市内事業所等に就労している人との要件を緩和し、多くの方が利用できる制度となることを望むが、見解を伺いたい。</p> <p>3 デュアルスクールについて デュアルスクールとは、地方と都市の学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる仕組みであり、本市に関心を持っていただくきっかけになると考える。 ・デュアルスクールの取組について見解を伺いたい。</p>	<p>企画推進課長</p> <p>学校教育課長</p>
11	萩原 弥香 (公明党)	<p>1 山梨市手話言語の普及の推進に関する条例制定等について ・「山梨市手話言語の普及の推進に関する条例」と明記した理由について伺いたい。 ・本条例を制定及び施行した場合、どのような取り組みで普及を図る計画なのか。また、どのような目標を掲げて取り組むのか伺いたい。</p> <p>2 重層的支援体制整備事業に伴う福祉支援策等について ・本市が進めてきた「ふらっとよりみち相談会」の令和6・7年度の実績を伺いたい。 ・新年度においても、これまでの形態を継続して実施することは可能なのか伺いたい。 ・重層的支援体制整備事業実施計画改定における取組を伺いたい。</p> <p>3 個別避難計画の作成等について ・本市の個別避難計画作成の現状と、現在、避難行動要支援者名簿に記載のある方は何名なのか伺いたい。 ・本市において、ハザードマップ上で危険な地域に住んでいる介護を要する方は、概ね何名なのか伺いたい。 ・新年度、個別避難計画作成をどのように進めていくのか計画と目標を伺いたい。また、概要のわかる小冊子を各戸に配布し、周知を図ることはいかがか。</p> <p>4 DXを活用した道路損傷等の通報について ・DXを活用し、道路などの損傷報告等に取り組みまれてはいかがか。</p>	<p>市長</p> <p>高齢者・介護支援課</p> <p>防災危機管理課長</p> <p>建設課長</p>
12	長沼 和人 (尚志会) ↓	<p>1 本市の人口減少施策の取り組みについて ・国の「地方創生2.0」の考え方を踏まえ、本市が今後検討及び実施を考えている人口減少対策について伺いたい。</p>	市長

12	長沼 和人 (尚志会)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住支援金、結婚新生活支援、学生定期券補助等の利用者が、次年度以降、想定を上回った場合の対応策について伺いたい。 2 個別避難計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> ・本市における策定率が極めて低い水準にあるが、どのような認識をもっているのか。また、考えられる要因や原因を伺いたい。 ・策定率向上のために計画している来年度以降の具体的な取り組み内容や体制を伺いたい。 3 こども誰でも通園制度について <p>こども誰でも通園制度は、保護者の就労要件を問わず、未就園児が一定時間、保育施設を利用できる制度である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では4月から山梨保育所で本格実施されるが、現時点での準備状況及び受入れ状況を伺いたい。 ・本制度の利用促進と周知方法について、どのように行っていくのか。また、他事業との連携は今後どのように図るのか伺いたい。 ・保育士不足が課題の中、人材確保策や負担軽減を含め、本制度を持続可能な形で実施していくための体制整備について伺いたい。 4 教職員の働き方改革の実施計画策定について <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間の縮減に向けた期限付きの数値目標を設定するにあたり、現場の勤務実態をどのように反映させ、目標達成に向けてどのように取り組むのか伺いたい。 ・現場が求めている支援をどのように計画に盛り込み、勤務間インターバル等の措置を実効性のあるものとしていくための具体的な方策を伺いたい。 	<p>防災危機管理課 長</p> <p>こども・子育て課長</p> <p>教 育 長</p>
----	----------------	---	--